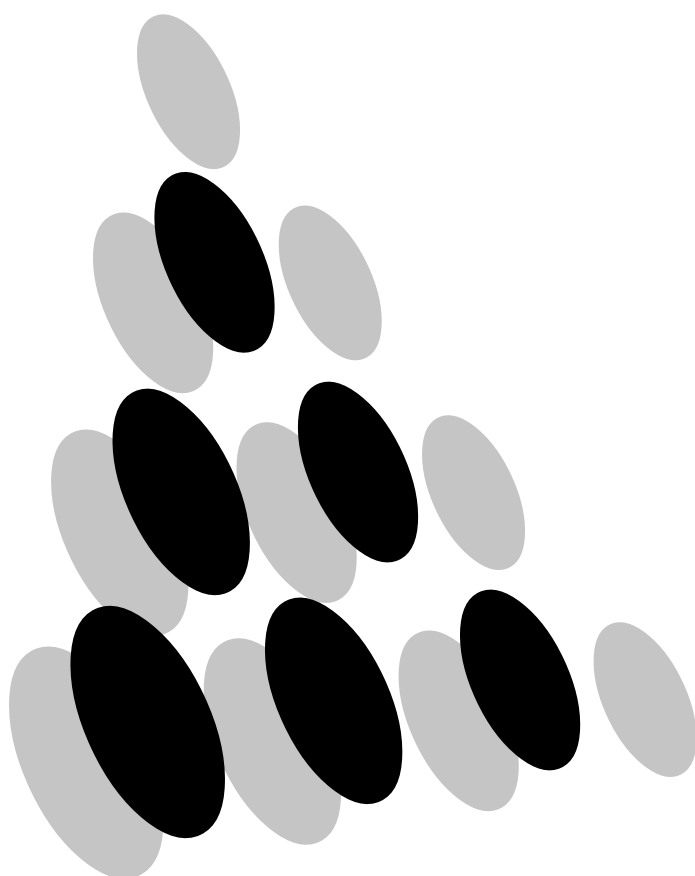
SERVIS™ Extender
Cat5 Wide Band

FE-1100CW

取扱説明書

FUJITSU

この装置は、クラスA情報技術装置です。
この装置を家庭環境で使用すると電磁妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されていない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではございません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

その他の製品名等の固有名詞は、各社の登録商標または商標です。

目次

1. はじめに

このたびは、SERVIS™ Extender Cat5 Wide Band をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品をお使いになると、コンピュータとキーボード、マウス、モニタを離れた箇所に設置できるため、設置場所の制限が大幅に改善されます。
本製品に接続出来るコンピュータは、PC/AT 機とその互換機、IA サーバ機、SUN ワークステーション及び SUN サーバ機です。
コンピュータからのVideo入力は、セパレートシンク信号及び、コンポジットシンク信号に対応しています。
接続できるモニタの解像度は 1920×1200 リフレッシュレート 60Hz(最大)で、マルチスキャン対応のモニタをご使用ください。

*注 SERVIS™ Extender Cat5 Wide Band を、以下遠隔ユニットまたは本装置と表現します。

1.1 表記規則

この説明書で使用している記号と文字の意味は次のとおりです。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性があること、および物的損害（本製品またはコンピュータの損害など）が発生する可能性があることを示しています。

Point

この記号のあとの文書は補足説明、注釈、ヒントです。

- 文頭に数字（１，など）がある場合は、順序にしたがっておこなう必要がある操作を示しています。
- 参照する章のタイトルと用語を強調する場合は、カギ括弧（「」）で囲んでいます。

1.2　梱包品の確認

次のものが、梱包されていることをお確かめください。

- LOCAL(送信ユニット)　× 1
- REMOTE(受信ユニット)　× 1
- AC アダプタ（受信ﾕﾆｯﾄ用）　× 1
- AC ケーブル（受信ﾕﾆｯﾄ用）　× 1
- 取扱説明書（本書）　× 1
- ナイロンクランプ（AC ｱﾀﾞﾌﾟﾀ抜け防止用）　× 1
- ネジ（ﾅｲﾛﾝｸﾗﾝﾌﾟ取り付け用）　× 1
- タイラップ（AC ｱﾀﾞﾌﾟﾀ抜け防止用）　× 1
- マスクシール（ﾃﾞｨｯﾌﾟｽｲｯﾁﾏｽｸ用）　× 1
- 調整棒（色ずれ調整用）　× 1
- フェライトコア（Cat5 ｹｰﾌﾞﾙに取り付け）　× 1

購入時の梱包箱および梱包品を保管しておくことをおすすめします。別の場所に移動するときに必要になることがあります。万一、不備な点がございましたら、おそれいりますが、お買い求めの販売店または弊社担当営業までお申し付けください。

「重要なお知らせ」の安全情報に注意してください。

1.　開梱時は本体に損傷がないか、配送品を確認してください。

2. 重要なお知らせ

この章には、遠隔ユニットを設置または、使用する際に注意しなければならない安全性に関する情報を記載しています。よくお読みのうえ、正しくご使用ください。

2.1 安全性

安全上の注意

本装置は、事務オフィス環境で使用する電子事務用機器などの情報処理装置に関する安全規格に準拠しています。ご不明な点があれば、お買い求めの販売店または弊社営業担当に連絡してください。

- 本装置を運搬する際は、衝撃や振動を避けるため、購入時の箱か同等の箱を使用してください。ただし、変形及び破損等が有る箱は、使用しないでください、本装置が破損する可能性があります。
- 本装置の取り付け中と使用前に、「技術仕様」の環境条件についての記事と「取り付け」の記事をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- 本装置を寒冷な環境から暖かい設置場所に移動すると、結露を生じることがあります。装置が完全に乾燥し、設置場所とほぼ同じ温度になってからご使用してください。
- 地域の線路電圧が本装置の許容範囲であることを確認してください。（「技術仕様」と本装置の型式銘板を参照してください）。
- 本装置の電源コンセントの周辺は、プラグの抜き挿しがすぐにできるようにしてください。
- ケーブルが損傷しないように、ケーブルを配置してください。ケーブルを接続したり、取り外すときは、「ケーブルの接続と取り外し」の該当部分を参照してください。
- 雷雨のときは、データ伝送ケーブルを接続したり、取り外したりしないでください。
- 本装置の内部に異物（クリップなどの金属類）や液体が入らないようにしてください。
- 緊急の場合（筐体、部品、またはケーブルの損傷、液体や異物の侵入など）は、ただちに装置からすべてのケーブルをはずして、お買い求めの販売店または、弊社営業担当に連絡してください。
- 本装置を修理できるのは、資格のある技術者だけです。資格のないユーザーが、本装置の誤った修理をおこなうと、感電や火災などの原因になることがありますので、絶対に改造または修理をしないでください。
- ケーブルは強く引っ張らず、必ずコネクタ部を持って抜いてください。
- 濡れた手で、コネクタの抜き挿しをしないでください。
- 本装置の上には、液体の入ったコップ等など不要な物をおかないでください。
- 周辺機器用のデータケーブルは、干渉を防ぐために適切な絶縁処理が必要となりますので、専用のケーブルをご使用ください。
- 本説明書は、本装置とともに大切に保管してください。本装置を第三者に譲渡する場合は、本説明書も譲渡してください。

⚠注意　ご使用上のご注意

ご使用の前に［ご使用上のご注意］をよくお読みの上、正しくご使用ください。ここに記載の注意事項は顧客様への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。

- 各コネクタの抜き差しは､コンピュータの電源がOFFになっていることを確認してから行ってください。また、静電気にも充分注意し放電してから行ってください。静電気が貯まったままや、電源がONのまま抜き差しすると､コンピュータまたは本機の故障の原因となる場合があります。その場合の故障は保証対象外ですので、ご了承ください。
- 本機に接続できるコンピュータは、PC/AT機とその互換機、IAサーバ機､SUNワークステーション機及びSUNサーバ機です。但し、各コンピュータは以下のキーボード、マウスコネクタ及びモニタコネクタを装備した機種です。それ以外の機種ではご使用になれません。また､コンソールにPS/2キーボード･マウスとSUN純正キーボードの同時接続はできません。
  ･PC/AT及びIAサーバ
  　　ミニDIN6Pメス (PS/2キーボード、PS/2マウス用)各1
  　　USB A型コネクタ
  　　Mini D-SUB 15Pメス(モニタ)
  ･SUNワークステーション及びSUNサーバ
  　　ミニDIN8P メス
  　　USB A型コネクタ
  　　Mini D-SUB 15Pメス(モニタ)

- コンピュータからの信号は､セパレートシンク信号及びコンポジットシンク信号に対応しています｡モニタの仕様をご確認の上､セパレートまたは､コンポジット設定してご使用ください。
- コンピュータとの接続はオプションの専用ケーブル(PS/2用､USB用､SUN用)をご使用ください。
- サポート外の特殊仕様のキーボード(プログラマブル／ワイヤレス)／マウス(ワイヤレス等、専用ドライバ含む)は動作しませんので、適合するものをご使用ください。
- 本機のキーボードコネクタはPS/2(6ピン ミニDINメス)または､SUN純正(8ピン ミニDINメス)です。
- 本機のマウスコネクタはPS/2(6ピン ミニDINメス)です。シリアルタイプのマウスは接続できません。
- PS/2ホイール付マウス等のスクロール機能を持つマウスをご使用になる場合、サポート外のスクロールは、正常に動作しないこともあります。また、サポートソフトによってはスクロールが正常に機能しなくなる場合があります。
- PS/2キーボードとPS/2マウスのコネクタは同じ形状ですので､色等を確認し正しく接続してください。間違って接続すると、動作しないばかりか故障の原因となる場合があります。
- コンソールのキーボードとコンピュータのドライバ設定は正しく設定してください。設定が間違っていると正常に動作しません。(例:言語ドライバ等､)
- DVI(Digital Visual Interface)対応モニタは接続できません。
-

● モニタケーブルのコネクタはMini D-SUB 15Pです。コネクタの向きを確認し、固定ネジで確実に固定してください。確実に接続されませんとトラブルの原因となります。
● 本機に接続するモニタは、マルチスキャン対応のモニタをご使用になり、解像度を正しく設定してください。本機がサポートする解像度は、1600×1200、リフレッシュレート75Hzまでです。また、ご使用のモニタや解像度の設定によっては、切替後表示がずれることが有ります。その場合はモニタかビデオカードで設定してください。
● 高解像度や接続環境でのゴーストやニジミ等の画質劣化は、モニタケーブルやビデオカードが影響している場合が有ります。また、モニタとビデオカードの組合せによっては、正常に表示出来ない場合も有ります。ビデオカード等の接続環境設定を変更してみてください。
● LOCAL(送信)･REMOTE(受信)ユニットの接続は、弊社製遠隔ユニット同士だけでおこなってください。他社製の遠隔ユニットとは接続できません。
なお、弊社製遠隔ユニットの中に、一部ですが、本機と接続できない製品があります。
詳しくは、お買い求めの販売店または弊社営業担当にお問い合わせください。

2.2 廃棄について

本装置は、金属、プラスチック部品を使用しています。廃棄するときは、各自治体の指示にしたがってください。

2.3 遠隔ユニットの運搬

遠隔ユニットを別の場所に運搬する際は、購入されたときに本装置が入っていた箱か、衝撃や振動から製品を保護できる箱を使用してください。

2.4 対応機種(キーボード、マウス、モニタ)

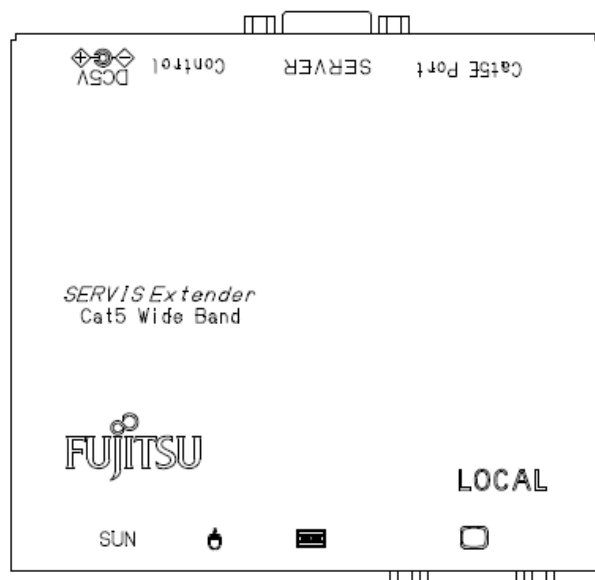
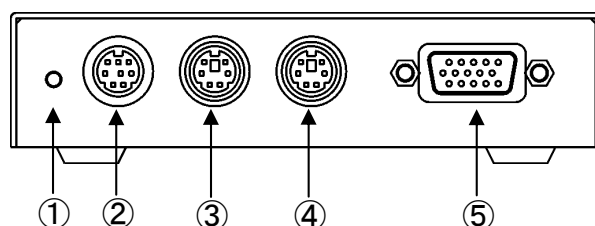
1. キーボード
   - PS/2準拠キーボード(101～109キー)
   - SUN純正キーボード

2. マウス
   - PS/2準拠マウス(2ボタン、3ボタン、スクロール機能対応)
   - SUN純正マウス

3. モニタ
   - PC/AT互換用、マルチスキャン対応モニタ

*注.コンピュータからのコンポジット信号に対応しています。コンピュータの仕様をご確認ください。

3. 各部の名称と働き

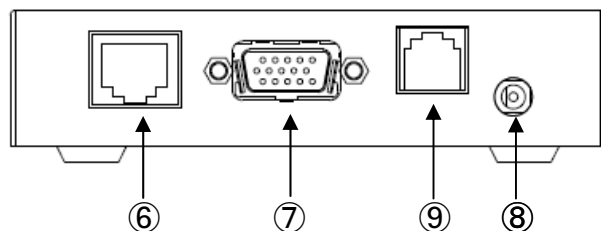
3.1 LOCAL(送信ユニット)

1) フロントパネル

① Power LED (緑色)
　サーバの電源を入れると、LEDが点灯します。サーバの電源が切れると消灯します。
　キーボード又は、マウスを操作するとPower LEDが点滅します。

② [CONSOLE SUN]用コネクタ(黒色)
SUN純正タイプのキーボードを接続します。受信ユニット側にもキーボード･マウスを接続した場合、同時操作はできません。また、PS/2キーボードとの併用は出来ません。

③ [CONSOLE マウス]用コネクタ(緑色)
PS/2マウスを接続します。受信ユニット側にもマウスを接続した場合、同時操作はできません。

④ [CONSOLE キーボード]用コネクタ (紫色)
PS/2キーボードを接続します。受信ユニット側にもキーボードを接続した場合、同時操作はできません。また、SUN純正タイプのキーボードとの併用は、出来ません。

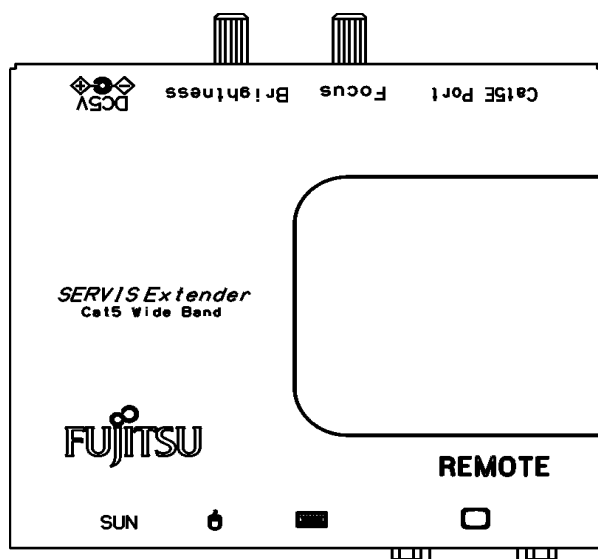
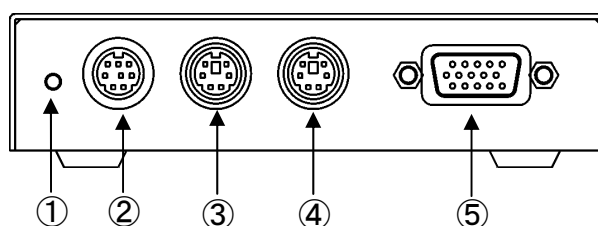
⑤ [CONSOLE モニタ]用コネクタ(青色)
モニタを接続します。

2) リアパネル

⑥ [Cat5E Port]用コネクタ
Cat5E ケーブルを接続します、受信ユニットの Cat5E Port コネクタと接続します。
他の LAN ケーブルを接続しないよう十分確認してから接続してください。

⑦ [SERVER]用コネクタ
コンピュータと本機を専用の複合ケーブルで接続します。

⑧ 電源コネクタ
オプション(別売)のＡＣアダプタを接続するコネクタです。
本機をＫＶＭスイッチやコンソールスプリッタと接続して使用する場合は、安定動作のため、ＡＣアダプタを接続してください。

⑨ リモート電源コンセント用コネクタ
リモート電源コンセント（オプション品、別売）を接続します。
出荷時は、カバが取り付けられています。 リモート電源コンセントを接続する場合は、カバを取り外してください。 詳細は、リモート電源コンセントの取扱説明書をご覧ください。

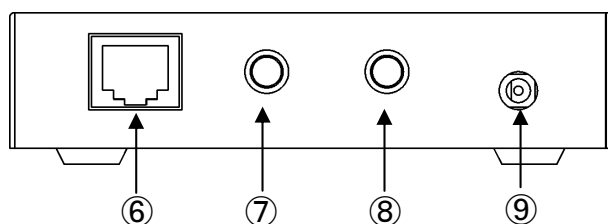
3.2 REMOTE(受信ユニット)

1) フロントパネル

① Power LED (緑色)
電源を入れると、LED が点灯します。電源が切れると消灯します。
キーボード又は、マウスを操作すると Power LED が点滅します。

② [SUN]用コネクタ(黒色)
SUN 純正タイプのキーボードを接続します。送信ユニット側にもキーボード･マウスを接続した場合、同時操作はできません。また、PS/2 との併用は出来ません。

③ [CONSOLE マウス]用コネクタ(緑色)
PS/2 マウスを接続します。送信ユニット側にもマウスを接続した場合、同時操作はできません。

④ [キーボード]用コネクタ (紫色)
PS/2 キーボードを接続します。送信ユニット側にもキーボードを接続した場合、同時操作はできません。また、SUN 純正タイプのキーボードとの併用は出来ません。

⑤ [モニタ]用コネクタ(青色)
モニタを接続します。

2) リアパネル

⑥ [Cat5E Port]用コネクタ
Cat5E ケーブルを接続します、送信ユニットの Cat5E Port コネクタと接続します。
他の LAN ケーブルを接続しないよう十分確認してから接続してください。

⑦ [Focus]フォーカス調整用ボリューム
画面のピントを合わす時に使用します。右に回すとより長く、左に回すとより短い距離でピントが合います。文字のエッジなどを見て最善位置に調整して下さい。

⑧ [Brightness]明るさ調整用ボリューム
画面の明るさを調整する時に使用します。右に回すと画面が明るくなります、お好みの明るさに調節してお使いください。

⑨ 電源コネクタ（ＡＣアダプタ接続用　ＤＣ５Ｖ）
添付の専用ＡＣアダプタを接続します。

4. ケーブルの接続

●ケーブルを接続する前に、本装置に関する説明書を読んでください。
●雷雨の時は、ケーブルを接続したり取り外さないでください。
●取り外すときは、ケーブルではなく、プラグ部を持ってください。
●ケーブルの接続と取り外しは本章の順序にしたがってください。
●Cat5Eport にはLAN に接続されたケーブルを絶対に接続しないで下さい。破損の原因になります。
●Cat5E ケーブルは弊社オプションケーブルを推奨します。

ケーブルの接続方法を説明します。１３～１５ページの接続例を、併せてご覧ください。

1. まずはじめに

コンピュータの電源コードを電源コンセントに接続します。**（接続例の①）**
コンピュータの電源がＯＦＦしていることを確認してください。

2. LOCAL(送信ユニット)の接続

（1） コンピュータのキーボード／マウスコネクタ及びモニタ用コネクタに専用ケーブル（オプション）を接続します。**（接続例の②）**

（2） 本機[**SERVER**]コネクタ（Mini D-SUB 15Pin(メス)）に専用コネクタ(黒色)を接続します。**（接続例の③）**。
SUN ワークステーション、サーバでモニタのインターフェイスに「13W3」規格を使用している時は、オプションの SUN 用アダプタ（13W3→HD15）をコンピュータとモニタコネクタの間に挿入します。**（接続例２の⑧）**

（3） Cat5E ケーブルを［**Cat5**］用コネクタに接続します。**(接続例の④)**

（4） 必要に応じ、LOCAL(送信ﾕﾆｯﾄ)の[**DC5V**]電源コネクタに AC アダプタ（ｵﾌﾟｼｮﾝ）を接続します。次に AC アダプタのプラグを電源コンセントに接続します。**(接続例３の⑨)**

3. REMOTE(受信ユニット)の接続

（1） モニタ,キーボード,マウスを［**モニタ**］及び[**キーボード**]、[**マウス**]コネクタに接続します。 モニタの電源コードを電源コンセントに接続します。
(PS/2 ｷｰﾎﾞｰﾄﾞ・ﾏｳｽ使用の場合： 接続例１の⑤)
(SUN ｷｰﾎﾞｰﾄﾞ使用の場合： 接続例２の⑤)

注１．キーボードとマウスのコネクタ形状は同じです。接続先を間違えないようにしてください。
注２．SUN キーボードと PS/2 キーボード・マウスのコネクタ形状は異なります。
接続先を間違えて、コネクタを無理に差し込まないようにしてください。

（2） Cat5E ケーブルを［**Cat5**]用コネクタに接続します。**(接続例の⑥)**

（3） REMOTE(受信ﾕﾆｯﾄ)の[**DC5V**]電源コネクタに専用 AC アダプタを接続します。
次に AC アダプタのプラグを電源コンセントに接続します。**(接続例の⑦)**

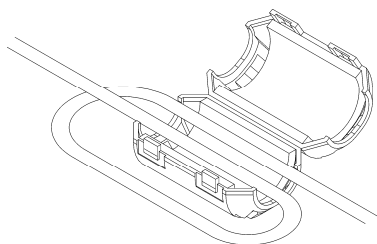
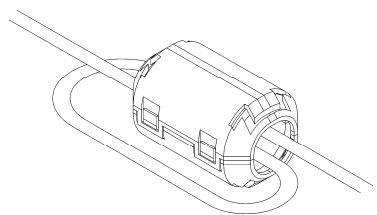
Point

●本機を、弊社のＫＶＭスイッチやコンソールスプリッタと接続して使用する場合や、ビデオのみ遠隔する場合には、送信ユニットの電源コネクタにＡＣアダプタを接続してください。（接続例３の⑨）
ＡＣアダプタは、別売の弊社オプション品（型名：FP-AC001）をお使いください。
●モニタ用コネクタ(Mini D-SUB 15Pin)の接続は、固定ネジで確実にコンピュータに接続してください。確実に接続されないと、画像が乱れる恐れがあります。
●コンピュータやモニタの電源は、接地電源コンセントに接続してください。
●キーボードやマウスの接続は、送信ユニットや受信ユニットの電源をＯＮする前におこなってください。
●ケーブル接続完了後の電源投入および切断の順序は次の通りです。

電源の投入順序：　REMOTE 側ﾓﾆﾀ　→　REMOTE　→　LOCAL　→　サーバ
電源の切断順序：　サーバ　→　LOCAL　→　REMOTE

5. フェライトコアの取り付け

ＬＯＣＡＬ（送信ユニット）側にフェライトコアが実装されるように
Cat5E ケーブルにフェライトコアをとりつけてください。(不要輻射低減のため)
フェライトコアに、ケーブルまたは指等をはさまないように注意しながら、確実にロックしてください。

1. フェライトコアに、Cat5E ケーブルを１巻して固定してください。
ＬＯＣＡＬ（送信ユニット)側の装置から約 20cm 以内をめどに、フェライトコアが実装されるように、取り付けてください。

2. ケーブルや指などをはさまないように確実にロックします。

接続例 1. PS/2 キーボード･マウス使用の場合

接地電源コンセント

①

サーバ

②

ｻｰﾊﾞの電源は、接地電源ｺﾝｾﾝﾄに接続してください。
(ｻｰﾊﾞのｱｰｽ端子を接地してください)

専用ケーブル

③

通常、AC ｱﾀﾞﾌﾟﾀの接続は不要です。
弊社 KVM ｽｲｯﾁやｺﾝｿｰﾙｽﾌﾟﾘｯﾀと接続する場合は、安定動作のため、送信ﾕﾆｯﾄに AC ｱﾀﾞﾌﾟﾀ（ｵﾌﾟｼｮﾝ）を接続してください。

LOCAL（送信ユニット）
リアパネル

Cat5E UTPケーブル

⑥ REMOTE（受信ユニット） リアパネル

⑦

ACアダプタ

接続例 2. SUN キーボード使用の場合

接地電源コンセント

①

サーバ

13W3変換コネクタ

⑧

②

SUN用
専用ケーブル

ｻｰﾊﾞの電源は、接地電源ｺﾝｾﾝﾄに
接続してください。
（ｻｰﾊﾞのｱｰｽ端子を接地してください）

通常、ACｱﾀﾞﾌﾟﾀの接続は不要です。
弊社KVMｽｲｯﾁやｺﾝｿｰﾙｽﾌﾟﾘｯﾀと接続する場合は、安定動作のため、送信ﾕﾆｯﾄにACｱﾀﾞﾌﾟﾀ（ｵﾌﾟｼｮﾝ）を接続してください。

③

LOCAL（送信ユニット）
リアパネル

Cat5E UTPケーブル

⑥

REMOTE（受信ユニット） リアパネル

⑦

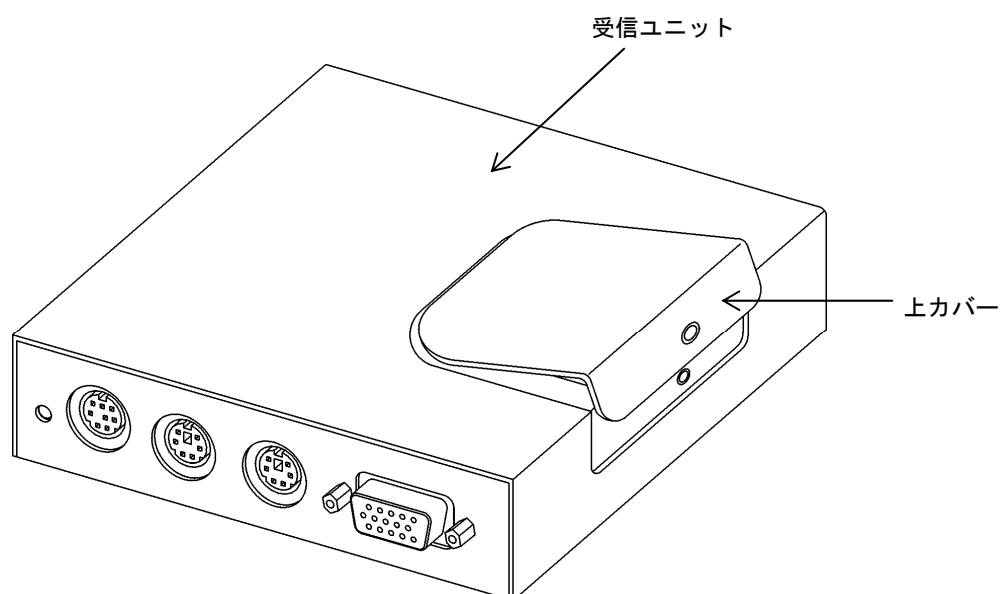
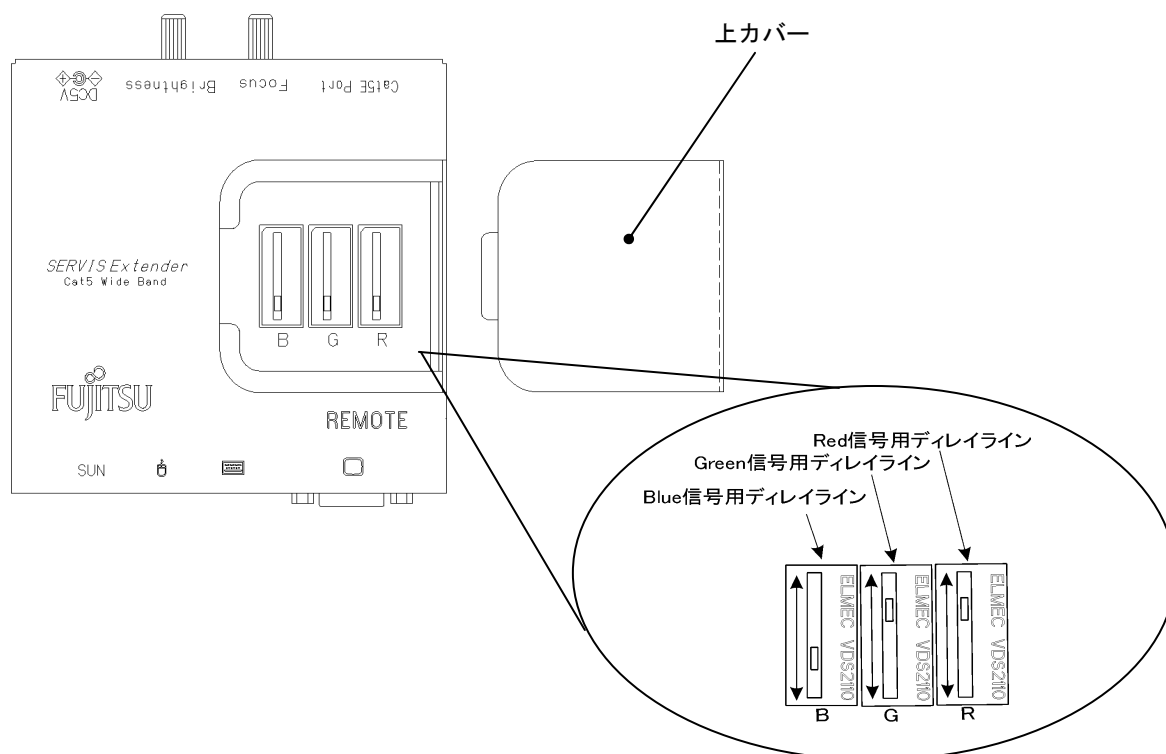
ACアダプタ

接続例 3. ＫＶＭスイッチ等と接続する場合

6. 画質調整方法

① Brightness ボリュームを回して､ご希望の明るさに調節します。
② Focus ボリュームを回して､画質がシャープになるように調節します。
③ 色ずれ調整を行います。但し､色ずれが気にならない場合は､不要です。
④ LCD モニタの AUTO SW を押下し､画質が鮮明(色ずれ､にじみ等ない状態)になっている事を確認ください。PC 又は本機のローカル出力にモニタを接続して Auto 釦を押し調整してください。

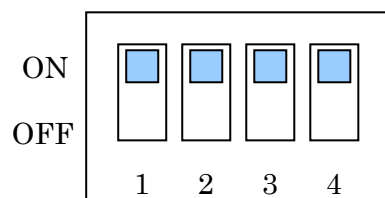
6.1 色ずれ調整方法

色ずれ調整を行う場合､本機受信ユニット(REMOTE)側の上カバーをはずします。このとき､本機の中に異物等入らないようにご注意願います。異物が入ると､故障の原因となります。

① 本機受信ユニット(REMOTE)の上カバー側面のネジ（１本）を外します。
② 上カバー側面を上に持ち上げて、上カバーを外してください。

③ ディレイラインの透明カバーを外してください。
④ Red 信号用ディレイライン、Green 信号用ディレイラインまたは、Blue 信号用ディレイラインのつまみを調整棒で、軽く左右に動かして各信号を調節してください。
⑤ ①～③の逆の手順で、組立てを行ってください。この調整は液晶モニタのクロック、フェーズを調整後に行ってください。また、調整棒での調節時に、調整棒を強く押さないでください、ディレイライン破損の原因となります。

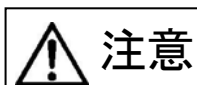
Point

ディレイラインの調整方法例
①ディレイラインを調整する時、画面上には背景を黒にし、白色の縦線を引きます。
　アプリケーションソフトは、ペイント等を使用することをお勧めします。
②つまみを”+”側へ移動:　Red、Green または Blue が右側に移動します。
　つまみを”－”側へ移動:　Red、Green または Blue が左側に移動します。
③最初に大きくつまみを動かして、色ずれ等が変化することを確認してください、
　色ずれ等の変化が分かってきましたら、移動量を少なくして調整してください。

7. 各国キーボード設定方法

ご使用になる各国キーボードにより、送信ユニットのディップスイッチを設定します。ディップスイッチは、送信ユニットの底面にあります。
出荷時は、すべてＯＮ（Japanese）に設定されています。

各国キーボード設定を、下表に示します。

各国キーボード設定	No1	No2	No3	No4
Japanese	ON	ON	ON	ON
GBR	ON	ON	ON	OFF
USA	ON	ON	OFF	ON
GER(German)	ON	ON	OFF	OFF
FRA(French)	ON	OFF	ON	ON
SWE(Swedish)	ON	OFF	ON	OFF
ESP(Spanish)	ON	OFF	OFF	ON
TPE(Taiwan)	OFF	ON	ON	ON
KOR(Korean)	OFF	ON	OFF	ON
UNIX	OFF	ON	OFF	OFF

⚠注意

本装置内に異物が入るのを防止するため、設定が終わったら、ディップスイッチの上に、マスクシール（添付品）を貼ってください。

8. ＥＤＩＤの設定

本装置は、電源投入時に、ＲＥＭＯＴＥ側に接続したモニタのＥＤＩＤを自動的に読み出し、ＬＯＣＡＬのメモリに書き込みます。　メモリの内容は、電源をＯＦＦしても保持しています。
サーバは、起動時等に、メモリに書き込まれたＥＤＩＤを読み出し、適切な解像度で表示します。

サーバがＥＤＩＤを読み出すためには、ＬＯＣＡＬのメモリにＥＤＩＤが書き込まれている必要があります。電源の投入は、次の順序でおこない、サーバの電源を最後に投入してください。

ＲＥＭＯＴＥ側のモニタ　→　ＲＥＭＯＴＥ　→　ＬＯＣＡＬ　→　サーバ

LOCAL の電源がサーバから供給されている場合は、同時になります。

Point

●ＥＤＩＤとは、モニタのベンダ名や型番、解像度などが含まれる、モニタの固有情報です。
●上記の手順で電源投入しても、適切な解像度でモニタが表示しない場合は、サーバを再起動してみてください。
●ＥＤＩＤは、電源投入時に自動的に書き込まれますが、手動で書き込むこともできます。　手動で書き込む場合は、次の手順でおこなってください。

①ＲＥＭＯＴＥ側のキーボードで、［Ｓｈｉｆｔ］キーを押しながら、［Ａｌｔ］キーを２回押します。　ＡＬＴキーは、素早く押してください。
②書き込みが完了すると、ＲＥＭＯＴＥ側のＰｏｗｅｒＬＥＤが、約０．３秒間隔で３回点滅します。　書き込みに失敗すると、ＰｏｗｅｒＬＥＤが約１秒間ＯＦＦします。書き込みに失敗した場合は、再度、①の操作をおこなってください。

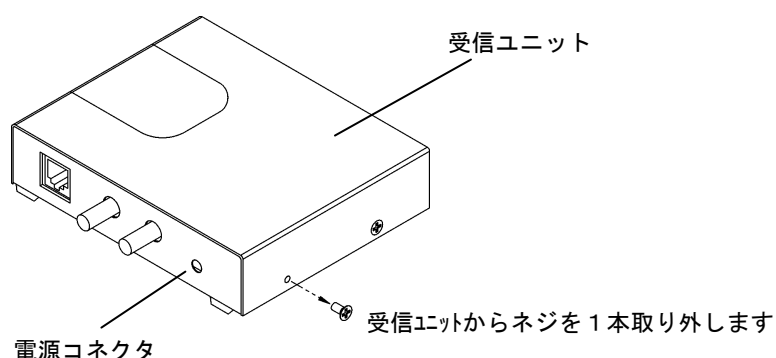
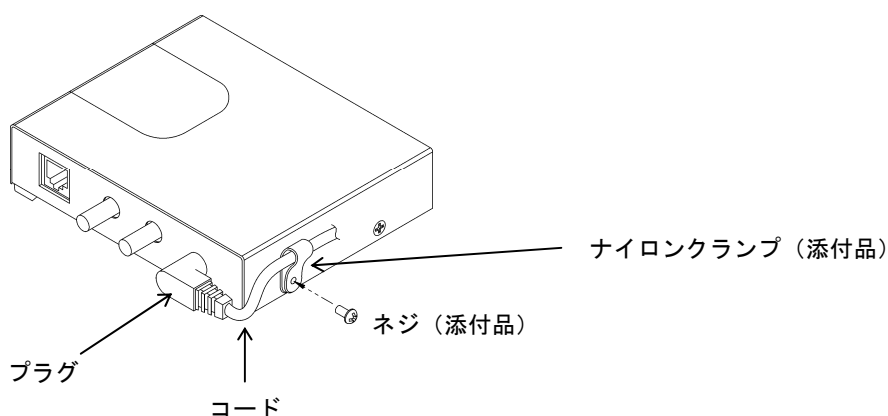
●メモリに書き込んだＥＤＩＤをクリアする場合は、ＲＥＭＯＴＥ側のモニタの接続を外して、上記①②の操作をおこなってください。

9. ＡＣアダプタのコード固定方法

受信ユニットにＡＣアダプタを接続したら、コード抜け防止のため、以下の手順でコードを固定してください。

注意 作業をするときは、ＡＣアダプタの電源コードをコンセントから抜いてください。

①受信ユニットのカバ取付ネジを１本取り外します。

（取り外したネジは、使用しませんので、保管しておいてください）

②電源コネクタにＡＣアダプタのプラグを差し込みます。次に、本装置に添付されている「ナイロンクランプ」と「ネジ」を使って、図のようにコードを固定します。

Point ナイロンクランプの取り付けが困難な場合は、添付のタイラップを使って、ＡＣアダプタのコードを、他のケーブル（ﾓﾆﾀのｹｰﾌﾞﾙ等）と束ねて、コードの抜け防止をおこなってください。

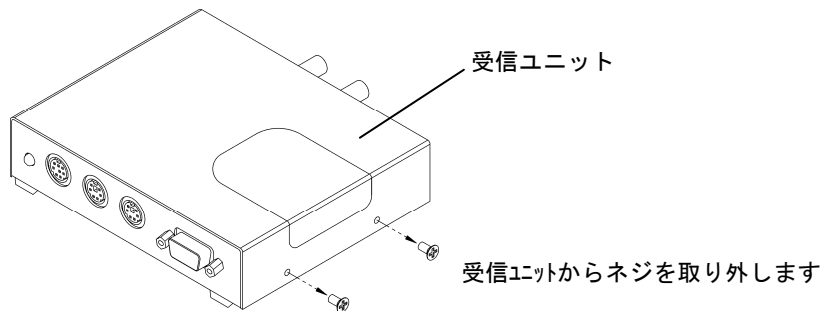
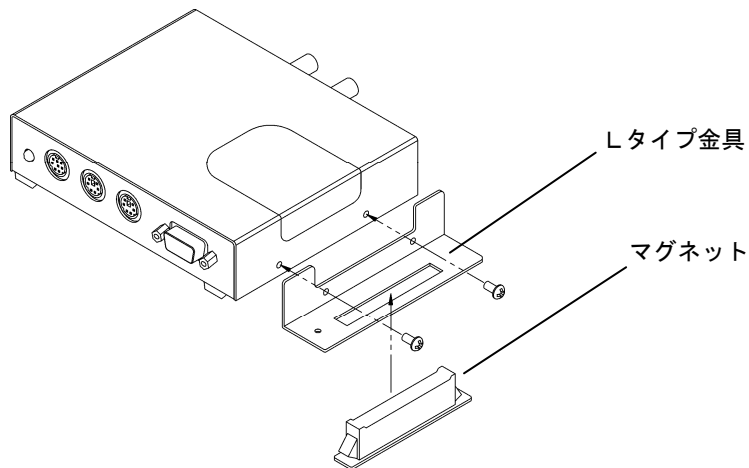
10. 取付金具（ｵﾌﾟｼｮﾝ品）の使い方

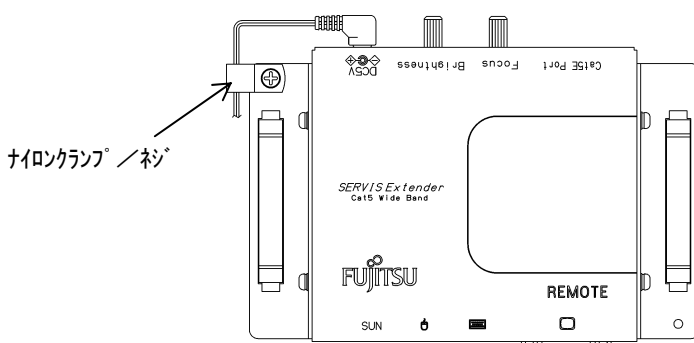
オプションの取付金具を用意しています。
取付金具を利用することにより、机の側面や、モニタの背面に、簡単に取り付けることができます。
取付金具には、Ｌタイプとボックスタイプの２種類があります。

9.1 Ｌタイプ金具の取付方法

注．以下の説明は、受信ユニットを例に説明しますが、送信ユニットの場合も同様です。

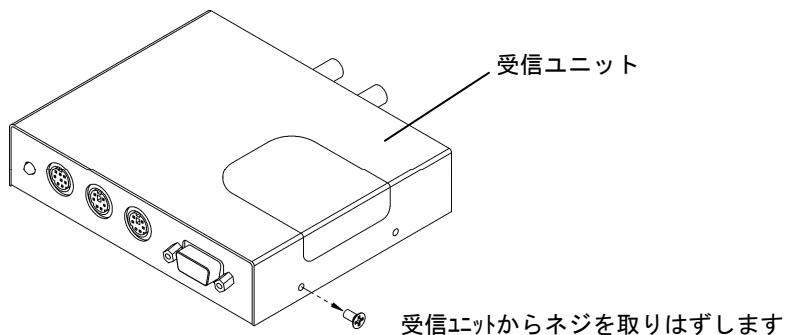
①ケース側面のネジを、取り外します。

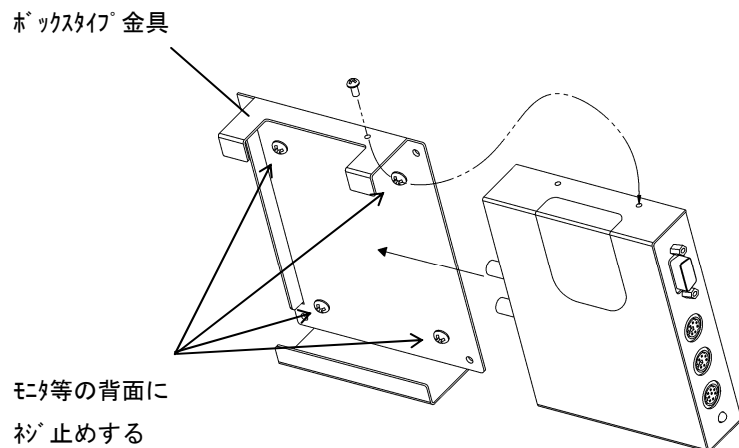
（取り外したネジは、使用しませんので、保管しておいてください）

②金具に添付されているネジを使って、ケース側面にＬタイプ金具をネジ止めします。
次に、マグネット（金具の付属品）をＬタイプ金具の角穴に差し込みます。

③反対側の側面も、②と同様に、Ｌタイプ金具とマグネットを取り付けます。

④Ｌタイプ金具のマグネットにより、机（金属製）の側面などに、取り付けます。
電源コードの抜けを防止するため、必要に応じて、下図のように、ナイロンクランプ（添付品）とネジ（添付品）を使って電源コードを固定してください。

9.2　ボックスタイプ金具の取付方法

注. 以下の説明は、受信ユニットを例に説明しますが、送信ユニットの場合も同様です。

①ケース側面のネジを、１本取りはずします。

（取り外したネジは、使用しませんので、保管しておいてください）

②金具に添付されているネジを使って、金具をモニタ等の背面にネジ止めします。
次に、受信ユニットを金具にネジ止め（１ヶ所）します。
受信ユニットを金具に取り付ける際に、受信ユニット底面に貼り付けされているゴム足がネジと干渉する場合は、ゴム足を剥がして干渉しない位置に貼り替えてください。

ゴム足を剥がす場合、手の爪を剥がさないようご注意ください。

③電源コードの抜けを防止するため、タイラップ（添付品）を使って、電源コードと他のケーブル（ﾓﾆﾀｹｰﾌﾞﾙ等）を束ねてください。

注. ボックスタイプ金具を使った場合、ナイロンクランプ（添付品）を取り付けてコードを固定することはできません。

11. ケーブルの取り外し

影響を受ける装置すべての電源プラグを電源コンセントから抜いてから、各ケーブルを取り外してください。

12. 遠隔ユニットのお手入れ

遠隔ユニットの電源コネクタから電源プラグを抜いてください。
研磨剤を含む清掃剤やベンジン、シンナーなどの有機溶剤、消毒用アルコールは使用しないでください。
水や洗剤、スプレー式のクリーナーを直接かけないでください。液が内部に入ると、誤動作や破損の原因になります。

遠隔ユニットの筐体を乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときには、水にうすめた家庭用洗剤を浸したやわらかい布をよく絞って拭きとってください。
ほこりはやわらかいブラシなどで払ってください。

13.技術仕様

項　目		仕　様	
名称		LOCAL(送信ユニット)	REMOTE(受信ユニット)
LED 表示	POWER(緑色)	1	1
インターフェース	キーボード	･PS/2 キーボードインターフェース(OADG 準拠)	
	マウス	･PS/2 マウスインターフェイス(OADG 準拠)	
	SUN シリアル	SUN 純正キーボード･マウス準拠	
	送信･受信ユニット間	当社オリジナル仕様(RJ45(Cat5) 8 線)	
コンソールポート	キーボード	･PS/2､Mini DIN 6P メス×1 (紫色)	･PS/2､Mini DIN6P メス ×1 (紫色)
	マウス	･PS/2､Mini DIN 6P メス×1 (緑色)	･PS/2、Mini DIN 6P メス ×1 (緑色)
	モニタ	Mini D-SUB 15P メス×1 (青色)	Mini D-SUB 15P メス×1 (青色)
コンピュータポート		Mini D-SUB 15P メス×1(黒色)	――――――――
ﾘﾓｰﾄ電源ｺﾝｾﾝﾄ接続端子		RJ11 型ﾓｼﾞｭﾗｺﾈｸﾀ	――――――――
送信･受信ユニット間延長距離		～300m	
モニター解像度、リフレッシュレート		1920 x 1200(最大)、60Hz	
電　源 / 消費電流		DC5V／0.7A(DC)	DC5V / 0.7A(DC)
動作周囲温度／湿度		0～40℃、10～80%RH (結露無きこと)	
保存温度		-20～60℃	
構　造		金属ケース、塗装色 (アイボリー)	
外形寸法 (W×D×H) 単位 mm		110×100×25 (突起部　ゴム足を含まず)	110×100×25 (突起部　ゴム足を含まず)
質量		約 330g	約 360g
添付品		･取扱説明書 × 1 ･AC アダプタ × 1 (REMOTE 用) ･AC ケーブル × 1 (REMOTE 用) ･ナイロンクランプ × 1 (ACｱﾀﾞﾌﾟﾀ抜け防止) ･ネジ × 1 (ﾅｲﾛﾝｸﾗﾝﾌﾟ取付用) ･タイラップ × 1 (ACｱﾀﾞﾌﾟﾀ抜け防止) ･マスクシール × 1 (ﾃﾞｨｯﾌﾟｽｲｯﾁﾏｽｸ用) ･調整棒 × 1 (色ずれ調整用) ･フェライトコア × 1 (Cat5ｹｰﾌﾞﾙに取り付け)	

● オプション(別売)

名　　称	型　名	備　考
CRT 複合専用ｹｰﾌﾞﾙ (0.7m)	FP-C007-PS2	･PS/2 用ケーブル
CRT 複合専用ｹｰﾌﾞﾙ (0.7m)	FP-C007-USB	･USB 用ケーブル
CRT 複合専用ｹｰﾌﾞﾙ (0.7m)	FP-C007-SUN	･SUN 用ケーブル

名　　称	型　名	備　考
Cat5E ケーブル	C5E-30	･空色 30m ケーブル
Cat5E ケーブル	C5E-50	･空色 50m ケーブル
Cat5E ケーブル	C5E-70	･空色 70m ケーブル
Cat5E ケーブル	C5E-100	･空色 100m ケーブル
Cat5E ケーブル	C5E-150	･空色 150m ケーブル
Cat5E ケーブル	C5E-200	･空色 200m ケーブル
Cat5E ケーブル	C5E-300	･空色 300m ケーブル

名　　称	型　名	備　考
SUN 変換アダプタ	FP-AD13W3	･SUN ﾓﾆﾀｰ用 13W3(ｵｽ)→HD15(ﾒｽ)変換ｱﾀﾞﾌﾟﾀ

名　　称	型　名	備　　考
取付金具 (L ﾀｲﾌﾟ)	FP-P101	
取付金具 (ﾎﾞｯｸｽﾀｲﾌﾟ)	FP-P102	

名　　称	型　名	備　　考
AC ｱﾀﾞﾌﾟﾀ	FP-AC001	AC ｹｰﾌﾞﾙ付き

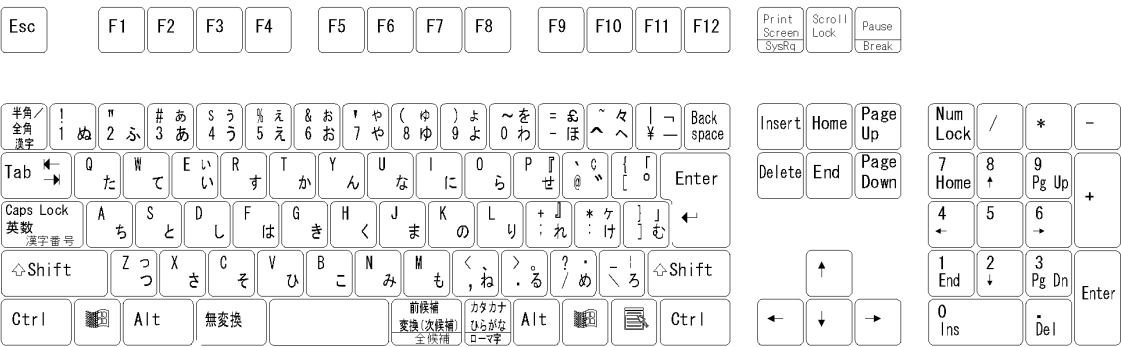
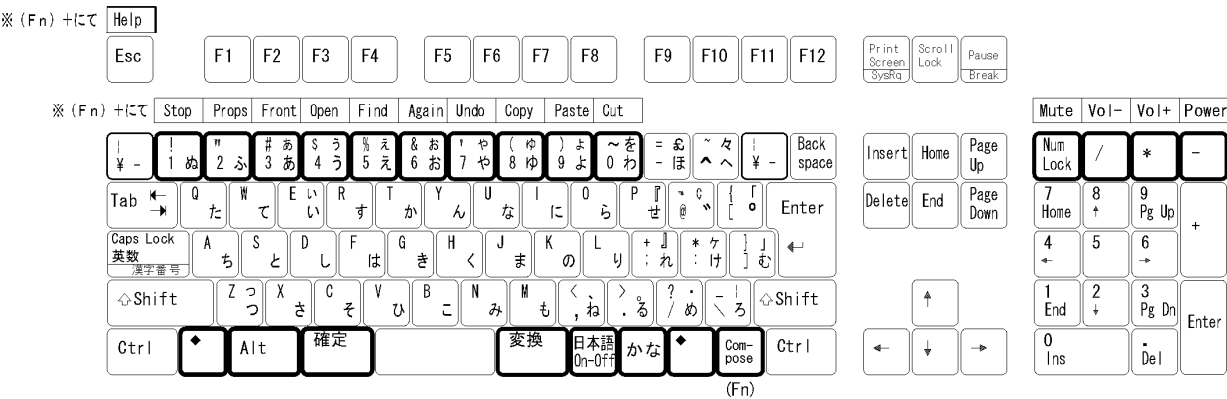
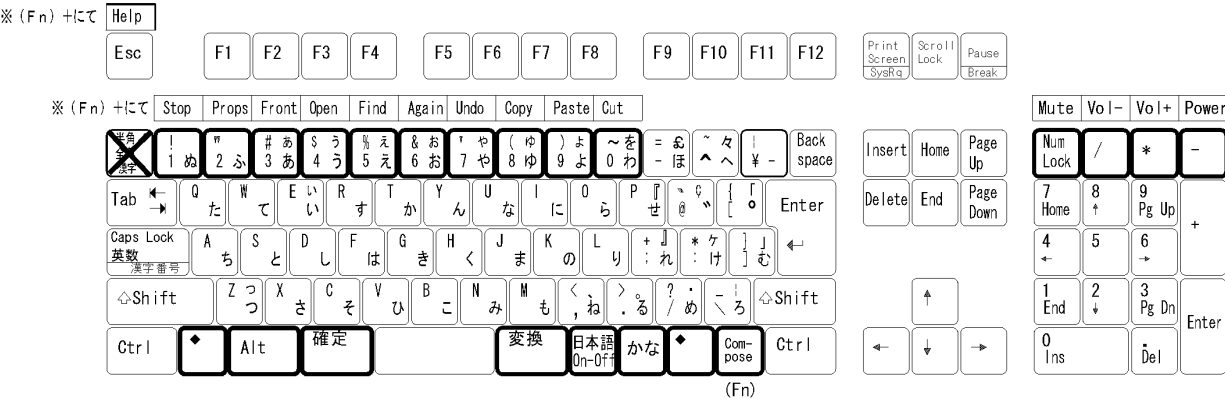
名　　称	型　名	備　　考
ﾘﾓｰﾄ電源ｺﾝｾﾝﾄ	FP-MMCB02-100	

14. トラブル対策

症　状	原　因	対　策
モニタが表示しない	AC コードがコンセントまたは本機からはずれた。	AC コードを接続する。
	モニタのサポート外の解像度に設定されている。	モニタのサポート解像度に設定する。
	コンピュータからの画像信号がない。(サスペンド状態)	コンピュータからの画像信号を入力する。
キーボード、マウスの動作がおかしい。または、動作しない	キーリピートがおかしい。	コンピュータのキーリピートのスピード設定を変更する。
	サポート外のキーボード、マウスを接続。	サポート内のキーボード、マウスに交換する。
	他方のユニットでキーボード、マウスを操作している。 （一方のユニットでキーボード、マウスを操作しているとき、他方での操作は無効です）	他方のユニットでのキーボード、マウス操作が終わるのを待つ。
	送信ユニットを、ＫＶＭスイッチやコンソールスプリッタ等と接続している。	送信ユニットの電源コネクタにＡＣアダプタを接続する。 (15ﾍﾟｰｼﾞ参照)
画質が劣化する （ゴーストや文字のニジミ等）	接続／ケーブル不良。	コネクタの接続を確認する。 別ケーブルと交換し、問題が解決したら、良品ケーブルに交換する。
	画質調整が合っていない。	受信ユニットのフォーカス調整用ボリュームを調整する。 (10ﾍﾟｰｼﾞ参照)
画面がずれる		モニタ側で調整する。
今まで動いていたのに突然動かなくなった	接続が外れた。	接続を確認し、再起動する。
	本機がハングアップした。	システム全体の電源を再度入れなおす。 (12ﾍﾟｰｼﾞ Point 参照)
	コンピュータに不具合が発生した	コンピュータの不具合を直す。

15. キーレイアウト

◆キーレイアウト対照図－１
・ＤＯＳ／Ｖ（ＰＳ／２）用　標準キーボード

（１）ＤＯＳ／Ｖのホストに接続した場合

（２）ＳＵＮのホストに接続した場合（SUN シリアル）

（３）ＳＵＮのホストに接続した場合（SUN USB）

注. Application キーを単独押下した時は、Compose キーコードが出力されます。
Application キーと他のキー(*(Fｎ)+のキー列)を併押下する事で、Sun 専用キーコードが出力されます。

◆キーレイアウト対照図－２
・ＳＵＮ用　標準キーボード

（１）ＳＵＮのホストに接続した場合

（２）ＤＯＳ／Ｖのホストに接続した場合

保　証　規　定

1.保証期間内に商品が故障した場合は、本規定に従い無償修理致します。
　製品に本書を添えてお買い上げ販売店等にご依頼ください。
2.保証期間内でも次の場合は有償となります。
(1)修理依頼時に保証書またはお買い上げ伝票の提示がない。
(2)お買い上げ日、お客様名、販売店印の記入がない、及び保証書またはお買い上げ伝票を改変した場合。
(3)商品に添付のユーザーズ･マニュアルの注意事項やご使用上の注意を満足していない場合。
(4)出張修理を要する場合。
(5)本書に故障内容を明記されていない場合。
(6)書面が添付されていても、内容が不明で再現のために調査費用が発生した場合。
(7)火災、地震や台風などの天災、騒乱などの人災、公害や異常電圧などの使用環境による故障および損傷。
(8)保管・運搬による故障および損傷。
(9)接続された他の機器に起因して故障した場合。
(10)弊社保守部門以外で修理、調整、改造をした場合。
(11)取扱い上での不注意、ご使用による故障および損傷。
(12)弊社が認めた以外で使用した場合のトラブル。
3.将来販売されるソフト、ハードとの互換性は保証されませんのでご了承ください。
･ソフトやハードの組み合わせ等の相性で発生するトラブルは故障としませんのでご了承ください。
･修理・交換部品が製造中止や入手困難な場合は、相当品または上位互換品と交換する場合があります。
･本商品を第3者に転売した場合は保証対象外となります。
4.本商品の故障またはその使用で生じた直接的､間接的損害は､弊社は一切の責任を負わないものとします。
5.本保証規定は日本国内で有効です。　This warranty is valid in Japan.
また本商品は、極めて高い信頼性が要求される下記のような用途での使用はできません。これらの使用は保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。
･軍事目的・原子力設備・交通制御設備・防火、防災設備・燃焼制御設備・航空宇宙機器・生命維持のための医療機器・その他人命や財産に影響をおよぼす設備。

＊保証期間終了後の有償修理は別途見積となります。
本規定は、以上の保証規定により弊社が無償保証を行うためのもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

＜　故障内容　＞
故障内容を具体的に記載ください。
記載ない場合は返却させていただく場合があります。
★1.　パソコン、キーボード、マウス、モニタの型式を記載ください。

★2.　初期不良でしたか？　使用中の故障でしたか？　：（初期／使用中）
★3.　故障内容を具体的に記載ください。